

いじめ見逃しゼロを目指して 第2回「いじめアンケート」実施

先月「いじめ実態把握調査」を全校生徒に実施しました。学校は「いじめは、どの子どもにも、どの学校にも起こりうる」ことだと認識し、学級担任等が聞き取りを行い、その内容をもとに「いじめ対策委員会」で協議し対応しています。

▼「4月から今まで嫌な思いをしたことがある」9%（14人）

「冷やかしかからかい悪口」「軽くぶつかる」等

▼「今も嫌な思いをしている」7.3%（11人）



あいさつ運動

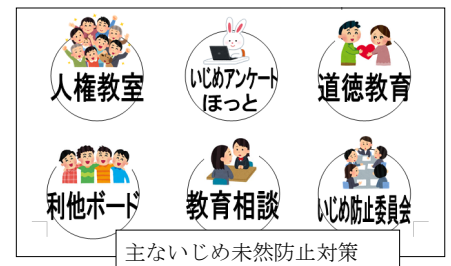


「どさんこ子ども地区会議」に参加し、高校生や小学生と「いじめ」の問題について話し合った前期生徒会役員。後志いじめ防止ポスター作成のため、いじめ反対の日の象徴であるピンクシャツ等を着て写真撮影。

いじめとは「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であつて、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」と定義されています。

【いじめ防止対策推進法2条より】※この法律において「児童等」とは、学校に在籍する児童又は生徒をいう。

つまり、本人が苦痛を感じていれば「いじめ」です。本校では、日頃からいじめの未然防止と早期発見に向けて、道徳教育や体験活動の充実、定期的なアンケート・相談体制の整備、啓発活動、そして教職員間での情報共有を大切にしながら取り組んでいます。また、万が一、生徒の生命や安全に関わる重大な事案が見られる場合には、関係機関とも連携し、迅速に対応してまいります。特に近年は、スマートフォンやインターネット上でのトラブルがきっかけとなるケースも増えております。ご家庭でも、お子さまが安心して利用できるよう、見守りやルールづくりについて、お力添えをいただけますと幸いです。学校と家庭が同じ方向を向きながら、お子さま一人ひとりの安全と成長を支えていければと思いますので今後ともよろしくお願いします。



職場体験終了 11月4日



お客様のことを考え丁寧かつ素早く片付け

3年生は先日、進路学習の一環として、1日の職場体験に取り組みました。短い時間ではありましたが、生徒たちはそれぞれの事業所で、仕事の雰囲気や働くことの責任を肌で感じる貴重な機会となりました。

参加した生徒は、「役割（仕事量）の多さ」「接客の大変さ」など普段自分が外側から見ていた仕事とは違う大変さや、「自分がいることで仕事がまわっている」というやりがいなどを感じることができました。また、お世話になった事業所の方からは「とても元気があって、

私たちが楽しく取り組ませていただきました。来年も、楽しみにお待ちしております。」などの声が寄せられました。

進路を本格的に考え始める時期に、社会で働く方々の姿に直接触れたことは、大きな刺激になったようです。ご迷惑をおかけした点もございましたが、温かくご指導いただきました事業所の皆様に心より感謝申し上げます。

【お世話になった事業所】※敬称略

イオン余市店 大川保育所 中央保育所 たけや リタ幼稚園 余市郡漁業協同組合 北後志消防組合余市消防署
山岡家余市店 杉の子幼稚園 余市町図書館 黒川小学校



消防服を身にまとい放水体験



1本8～15kgのブリを数百本荷受

寿司握りを体験



11/26（水）に令和8年新入生体験入学を行いました。授業見学の他、生徒会役員から東中学校の行事やルールなどの説明を受けました。熱心に話をきいている姿が見られ、とても立派でした。



11/27（木）に東中学校理科教師2名が、黒川小5年生へ乗り入れ授業を行いました。専門の教師の解説に目を輝かせていました。



11/29（土）に高齢者総合福祉施設フルーツ・シャトーより東中学校と古平中学校の吹奏楽部が合同で慰問演奏に出かけました。入居者の方々から大きな拍手をいただきました。感激して涙を流す方がいらっしゃり、部員たちの心にも響く演奏会となりました。古平中教職員の津田楽団、東中教職員腰元ダンスも最後に加わり、演奏会を盛り上げました。